産業建設常任委員会
委員長…山本芳久　副委員長…神田全記
委　員…綾香良一、竹山俊郎、松山定夫、山内清二、山内政夫

産業建設常任委員会

委員会開催日　6月16日
（文責・山本芳久委員長）

今回、本委員会に付託を受けました案件は、承認1件、議案4件で、審査の結果、原案のとおり承認および可決すべきものと決定しました。

ここでは、特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。

（【　】）は所管課名）

●承認第2号中、専決第9号「平成27年度平戸市一般会計補正予算」

▼家畜導入事業

繁殖雌牛の増頭・維持について、各地区の実績内訳はどうなっているのかとの質問に対し、平戸地区30頭、生月地区9頭、田平地区10頭、大島地区12頭の合計61頭であったとの答弁があった。

これに関連して、肉用牛を育てる農家も平均年齢が65歳となるなど高齢化が深刻化しているが対策をどう考えているのかとの質問に対し、高齢化については〝就業者の減少〟が根底にあるので、本市としては農業の担い手をしっかり育てることが重要であると考えているとの答弁があった。

【産業振興部農林課】

▲繁殖農家から子牛が預けられているキャトルステーション

▼21世紀の漁業の担い手確保推進事業

技術習得支援のうち漁家子弟およびU・Iターンの新規者の実績がゼロだが今後も厳しい状況が続くのかとの質問に対し、漁家子弟分については認定者はいたものの最終的に辞退され、親元で漁師として働いている事例があること。

また、U・Iターン者については3人の問い合わせや訪問があったものの、漁業就業に関し、生計を立てる上での現実的かつ専門的な話をする中で、結果的に研修実施まで至らなかったとの答弁があった。

これに対し、補助金の活用いかんではなく、漁業を志す人の確保のために今後も取り組んでもらいたいとの意見があった。

【産業振興部水産課】

▼観光魅力最大化プロジェクト事業

市内周遊観光バス運行委託に関し、市内の名所・観光施設を巡る市内周遊観光バスを運行することによって2次交通を確保し、国内外から訪れる観光客への満足度向上を図りたいとの説明があった。

これに関連して、外国人の誘客対策はどのように取り組んでいるのかとの質問に対し、5市連携で行なっている東アジア観光客誘客促進事業の活用と併せて観光協会、県観光連盟と連携し誘客に努めており、中国・台湾・韓国を中心に観光客は増加傾向にあるので、今後も広域に連携して取り組みたいとの答弁があった。

【文化観光部観光課】

▲田平天主堂を訪れる外国人観光客

●議案第56号「平成28年度平戸市一般会計補正予算」

▼鄭成功記念館山門完成記念事業

事業は9月24日、25日に完成記念セレモニーおよび祝賀会等を予定しており、いずれも所管課が事業実施主体として開催するが、地元の鄭成功を生かした中野まちづくり委員会および関係団体と連携し執り行うとの答弁があった。

【文化観光部観光課】

▲工事が進む山門の様子

●議案第59号「あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について」

現地を踏査し確認をした。

【産業振興部水産課】

▲川内港の現地調査

文教厚生常任委員会
委員長…山田能新　副委員長…松尾　実
委　員…川上茂次、近藤芳人、平石博徳、松﨑義昭

文教厚生常任委員会

委員会開催日　6月17日
（文責・山田能新委員長）

今回、本委員会に付託を受けました案件は、承認1件、議案7件、請願1件で、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

ここでは、特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。

（【　】）は所管課名）

●承認第2号中、専決第9号「平成27年度平戸市一般会計補正予算」

▼臨時福祉給付金給付事業

平成27年度の臨時福祉給付金の未申請者が1千186人いたとの説明があった。これに関連し、平成28年度分高齢者向け給付金の申請も始まっているが、今後、未申請者解消の手立てをどのように考えているのかとの質問に対し、申請漏れがないよう今後も個人通知や班回覧などで対象者に通知するなど一層PRに努め、申請率向上に向けた取り組みを進めていきたいとの答弁があった。

【市民福祉部福祉課】

▼福祉医療給付事業

小・中学生の現物給付（注）について、今後の方針をどのように考えているのかとの質問に対し、財源の確保や関係団体との調整など必要であるが、市独自の事業として、次年度から実施できるよう努力していきたいとの答弁があった。

（注）現物給付とは…医療機関ごとに受給者証を提示することで一定割合の自己負担（1日800円・2日以上1千600円上限）で医療等が受けられる制度

【市民福祉部福祉課】

▼ICT教育推進整備事業

ICT機器導入の、平成27年度の実績と利用状況についての質問に対し、各小・中学校に大型ディスプレイ、電子黒板機能付プロジェクターや教師用タブレット並びにアクセスポイントなどを整備した。

また、週に3回以上ICT機器を使う教師の割合が約5割となるなど、子どもの授業の理解や学習意欲を高めるために有効に活用されているとの答弁があった。

これに関連し、アクセスポイントが不足している学校があると聞いているが、アクセスポイントの増設の考えはあるのかとの質問に対し、増設を検討したいという答弁があった。

【教育委員会教育総務課・学校教育課】

▲ICTを活用した授業の様子

▼学校給食管理運営事業

給食費の未納状況の推移についての質問に対し、滞納者に対して税務課と協力して法的措置をとるようになったことやPTAの協力、保護者の意識の向上もあり、現年度と過年度を合わせた収納率は、平成25年度が96・01％、26年度が96・92％、27年度が97・39％と年々向上しており、今後も関係者と連携し滞納対策に取り組んでいきたいとの答弁があった。

【教育委員会教育総務課】

●議案第58号「工事請負契約の変更について」

今回の工事請負契約の変更は、市立中部中学校校舎（⑮棟）大規模改造工事（建築工事）に係るもので、外壁改修箇所の増加や渡り廊下の屋上防水工事を追加する必要が生じたことによるものとの説明があった。

これに関連し、外壁改修工事については、当初の見積りから500㎡近い面積が増加しており、もっと綿密に見積もることができなかったのかとの質問に対し、今回の変更は実際に足場を組まないと確認できなかった箇所であり、見積りは最小限の数値で行なったためこのような変更となったとの答弁があった。

これを受け、見積りのあり方について、今後は必要最小限ではなく、現実に近い数値で綿密に見積もるよう要請する意見があった。

【教育委員会教育総務課】

●議案第60号「北松北部環境組合規約の一部変更について」

これまでの負担割合としていた、平等割30％（平戸市3対松浦市2）、人口割70％を変更するもの（新制度の負担割合は4ページ参照）で、仮に必要な経費を、新制度で試算（平成28年度予算ベース）した場合、これまでと比べ全体でおよそ2千800万円の減額になるとの答弁があった。

このほか、ごみの搬入量割の導入に伴い、家庭でできるごみ減量化の取り組みを周知していきたいとの答弁があった。

【市民福祉部市民課】